

日本福祉大学 スポーツ科学センター一年報 令和6年度版



目 次

1. はじめに	—センター長挨拶—	p.1
2. スポーツ科学センターの活動		p.2
3. スポーツ強化支援政策		p.3
1)	リーダーズキャンプ	p.3
2)	主務・マネージャー研修	p.11
3)	SMT 講習会	p.14
4)	スポーツ栄養講習・調理実習	P.17
5)	女性アスリートサポート事業	P.20
6)	各部の活動報告	p.23
7)	指導者研修	p.42
4. 日福スポーツデー		p.45
5. みはまスポーツクラブの活動支援		p.48
6. 地域貢献活動		
1)	第2回日本福祉大学マリンカップ	p.50
2)	水泳教室	p.54

1. はじめに –センター長挨拶–

2024年度スポーツ科学センターの成果とこれから

2024年度のスポーツ科学センターの事業は、(1)「スポーツ系特別強化指定部・強化支援部への活動支援及びスポーツ振興事業」、(2)「地域住民にスポーツ・プログラム等を提供する地域貢献事業」、(3)「地域連携に関する事業（みはまスポーツクラブ事業）」の3つである。詳しい活動内容は各報告に委ねるが、ここではそれらの活動について概括し、スポーツ科学センターのこれからの取り組みにつなげたい。

まず、(1)「スポーツ系特別強化指定部・強化支援部への活動支援及びスポーツ振興事業」の活動について紹介する。特別強化指定部・強化支援部への活動支援として、①リーダーズキャンプ、②主務・マネージャー研修会、③スポーツ栄養講習会・調理実習、を実施し部の組織運営や競技力向上につながる支援を実施した。これまで継続してきたこれらの活動支援が、特別強化指定部における女子ソフトボール部、女子バスケットボール部のインカレ出場、強化支援部においても男子ソフトボール部、男子及び女子アーチェリー部、男子及び女子水泳部、男子及び女子硬式テニス部のインカレ出場につながったといえる。

一般学生に対しては、スポーツをする機会と場所を提供することを目的に日福スポーツデーを前期及び後期に企画・実施した。多くの学生が参加し、学部や学年を超えてスポーツで交流する機会となった。

次に、(2)「地域住民にスポーツ・プログラム等を提供する地域貢献事業」の活動については、美浜町在住の方々のニーズに合致した取り組みである小学生を対象とした水泳教室を実施した。参加者からの要望として、継続的な水泳教室の実施があげられる。また、水泳以外のスポーツに関する地域貢献事業実施の検討が急務である。

さらに、(3)「地域連携に関する事業（みはまスポーツクラブ事業）」の活動については、様々なフィールド（教室・サポート学生・卒業論文）への学生の関わりが増加し、取り組み内容も充実してきている。この広がりや質の担保は地域連携においても大きな役割を担うため、来年度も継続する必要がある。美浜町運動公園を活用したさらなる連携が求められ、来年度以降はそれらを視野に入れ、大学や町、みはまスポーツクラブとコミュニケーションをさらに深め、相互理解と協力をしつつ連携を行うことが重要課題である。

以上、今年度の3つの事業について概括したが、2025年度のスポーツ科学センターの事業は今年度と同じ3つの事業を掲げ、課題となった部分について検討・実施していきたい。

特に、スポーツ系特別強化指定部・強化支援部への活動支援については、環境整備、広報、高大接続による一体的な強化、ガバナンスの構築、エンrollmentマネジメントの対応強化、指導者配置、援助金支援等の政策のさらなる推進を図る。

（センター長 山本 秀人）

2. スポーツ科学センターの活動

(1) 活動目的

- 1) スポーツに関する学生教育
- 2) 課外活動の支援
- 3) 地域と連携した教育実践活動など、本学の特色を生かした総合的なスポーツ振興に関する諸施策を立案し、事業を推進する

(2) 2024年度の主な活動

- 1) みはまスポーツクラブ事業の展開 (4月～3月)
- 2) SMT (スポーツメンタルトレーニング) 講習会開催 (5月～9月)
- 3) 日福スポーツデー開催 (6月4、6、13日、12月2～5日)
- 4) にっぶくスポーツ DAY 開催 (11月2日)
 - ・水泳教室
 - ・少年野球教室
 - ・サッカー教室
- 5) 特別強化指定部リーダーズキャンプ開催 (1月11日)
- 6) 女性アスリートサポート事業実施 (1月25日)
- 7) 日本福祉大学マリンカップ開催 (1月25、26日)
- 8) スポーツ栄養講習会実施 (2月5～7日)
- 9) 日本福祉大学杯少年サッカー大会開催 (2月22日)
- 10) 特別強化指定部主務・マネージャー研修会開催 (3月29日)
- 11) UNIVAS との連携 (管理者研修、指導者研修参加)
- 12) 特別強化指定部・強化支援部スタッフ研修開催 (3月2日)

3. スポーツ強化支援政策

1) リーダーズキャンプ

- 主 旨** ① リーダーとして必要な知識・教養を身につけること
 ② 他の部活のリーダーと話をすることによって情報や悩み等を共有し、今後、コミュニケーションが取れる関係を築くこと

日 時 2025年1月11日(土) 13:00~15:00 (対面にて実施)

協 力 NPO 法人 Shape the Dream

参加者

24年度リーダーズキャンプ 参加者一覧					
	部活動名	名前	学籍番号	役職	
1	女子バスケットボール部	藤本 希実	23SP1561	副キャプテン	
2	女子バスケットボール部	東山 莉子	22SP1315	副キャプテン	
3	ゴルフ部	横山 璃周	23SP1934	主将	
4	男子バスケットボール部	八橋 羅生	22SP1604	主将	
5	男子バスケットボール部	母袋 柊一	22PE0332	なし	
6	硬式野球部	後藤 優斗	23SP0654	選手	変更
7	硬式野球部	篠田 英幸	24SP0943	主務	変更
8	陸上競技部	本間 脩規	22SP1414	主将	
9	陸上競技部	杉浦 晴人	22SP0820	副主将	辞退
10	水泳部	岡島 貫太	22SP0317	キャプテン	
11	男子ソフトボール部	別所 歩夢	22EE1745	主務	
12	サッカー部	庄司 壮晴	23SP0746	副キャプテン	
13	バドミントン部	澤崎 駿	23FU0317	主将	
14	ラグビー部	永田 雄大	22FU0607	副キャプテン	
15	ラグビー部	瀬川 隼也人	22PS0141	FWリーダー	
16	ダンス部	前山 尚希	22FU0797	主将	
17	ダンス部	加藤 稔望	22PC0176	副主将	
18	女子ソフトボール部	和久井 美来	22FU1035	主将	
19	女子ソフトボール部	伊藤 瑠莉	22FU0151	選手	
20	アメリカンフットボール部	小笠原 歩	22FK0112	主将	
21	アメリカンフットボール部	尾崎 極	22PC0135	副主将	
22	合奏研究会吹奏楽団	今井 万里那	23PC0068	団長	
23	合奏研究会吹奏楽団	井上 舞優	23FG0054	副団長	
24	卓球部	鈴木 寿和	23SP0829	次期主将候補	欠席
25	弓道部	金子 拓矢	23HI0037	主将	
26	硬式テニス部	川野 翔太	22SP0481	主将	
27	硬式テニス部	竹山 輝利斗	24SP1107	選手	新規参加
	アーチェリー部：不参加			※順不同	

自己紹介



有明 葵衣 (ありあけ あおい)

競技：バスケットボール

- NPO法人Shape the Dream 副代表理事
- 富士通株式会社 企業スポーツ推進室所属
- 一般社団法人バスケットボール女子日本リーグ (WJBL) 理事
- 3x3現役選手 TOKYO BB所属

- ✓ 秋田県大仙市 (大曲市) 出身 ※花火の街「大曲の花火」
- ✓ 小学校、中学校、高校、大学、WJBLのすべてのカテゴリーで主将を経験
- ✓ U-18日本代表、U-22ユニバーシアード日本代表
- ✓ 2009～2015年まで富士通レッドウェーブ (WJBL) で選手として活動
- ✓ 2018年より3x3 (3人制バスケ) で現役復帰
- ✓ 資格：中学校・高校保健体育教員免許
花火鑑賞士、スポーツリズムトレーニング (STAR)



Agenda



研修内容

- ① リーダーとリーダーシップの違い
- ② PERSONAL VALUE (あなたの価値観)
- ③ 心理的安全性と多様性について
- ④ わたしのリーダーシップを考える

研修の様子





総 括

今年度のリーダーズキャンプは、昨年度同様に1月開催となった。NPO 法人 Shape the Dream さん協力のもとで行うのは5年目となるが、対面での実施は2回目であった。特別強化指定部・強化支援部16部活から合計25名が参加した。研修内容として「自分の価値を知り、新しいリーダーシップを考える」をテーマに2時間の講義・グループワークを行った。

新チームになり主将やキャプテンとして試行錯誤している学生同士が、自分や他のメンバーの大切にしている価値感について知り、理想とするリーダー像というものを考える機会になった。最初は静かな雰囲気であったが、研修会が終わる頃にはグループ内で積極的な意見交換や発言が見られ、2時間の研修を通して他の部活動の学生同士の仲も深まっていた。アンケート結果からも非常に満足度の高い研修となった。

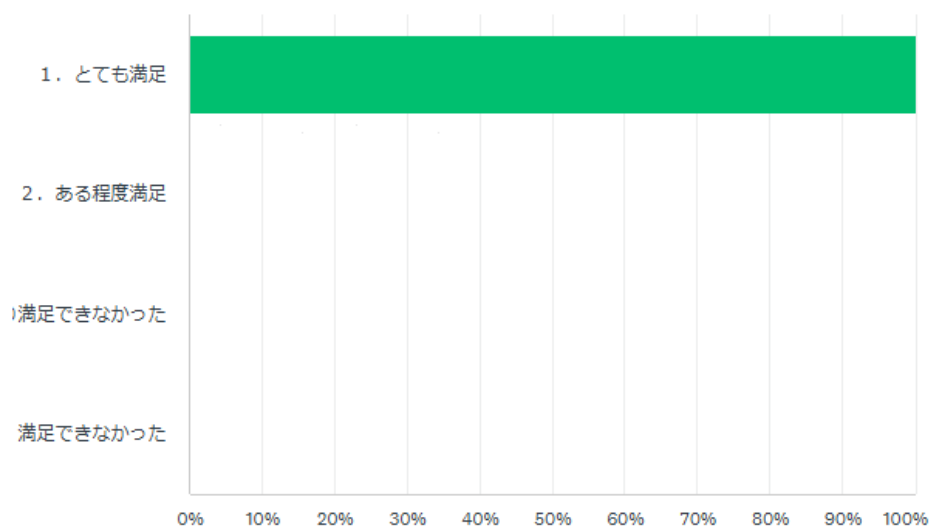
次年度以降もぜひ継続していきたい研修であるとともに、一部の部は対象者以外の部員が参加していたたり、欠席者も見られたりしたため、研修の趣旨をきちんと伝えて理解していただくことも重要であると感じた。

(文責 中尾 綾)

参加者アンケート結果

本日のプログラムの満足度を教えてください。

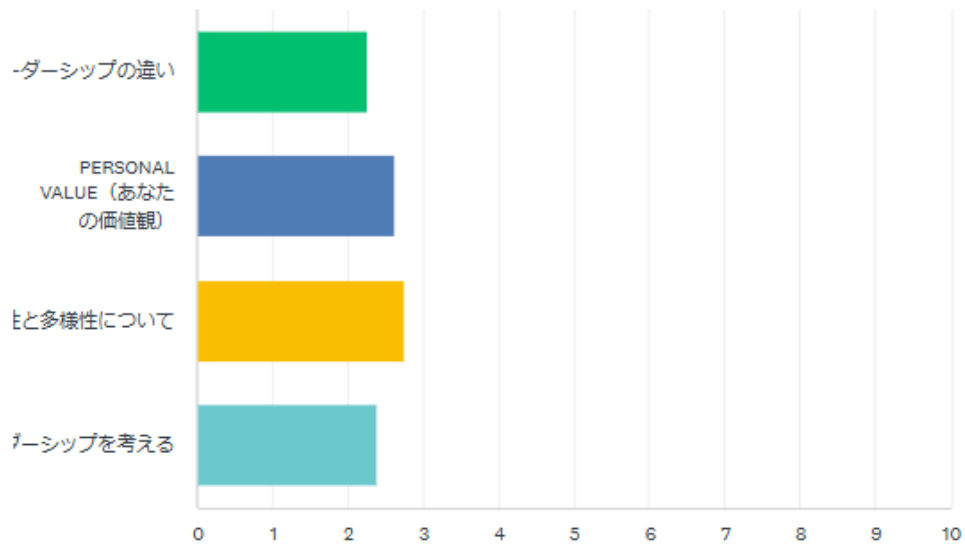
回答数：24 スキップ数：0



回答の選択肢	回答数	割合
1. とても満足	24	100.00%
2. ある程度満足	0	0.00%
3. あまり満足できなかった	0	0.00%
4. 満足できなかった	0	0.00%
合計	24	

本日のプログラムでためになった内容を順位付けしてください。

回答数：24 スキップ数：0



	1	2	3	4	合計	スコア
リーダーとリーダーシップの違い	20.83% 5	16.67% 4	29.17% 7	33.33% 8	24	2.25
PERSONAL VALUE (あなたの価値観)	29.17% 7	29.17% 7	16.67% 4	25.00% 6	24	2.63
心理的安全性と多様性について	29.17% 7	29.17% 7	29.17% 7	12.50% 3	24	2.75
わたしのリーダーシップを考える	20.83% 5	25.00% 6	25.00% 6	29.17% 7	24	2.38

Q. 本日のプログラムの感想や気付きをご記入ください。(自由記述)

<p>前に立つ立場としてみんなの意見を尊重することの大切さを改めて感じました。うまくいくチーム</p>
<p>私は、フラットな関係を作りたいと思いながら今キャプテンをしていたため、この話を聞いて自信を持ってフラットで話しやすいチーム作りをしていきたいと感じた。様々な人の意見を聞くことで多くのことを吸収していきたいと感じた。</p>
<p>リーダーとリーダーシップの違いについて知ることができました。心理的安全性という言葉が知らなかったのでこんな言葉があるのかととても参考になりました。副キャプテンとしてキャプテンを支えることはもちろんチームメイトの意見を常に聞きより良いチームが作れるように頑張りたいと思います。</p>
<p>今のチームはまだまだ、上の人言うことを聞かないといけないという雰囲気がまだまだある。その中で今日の講義でいいチーム、いい組織というのは中立した関係性を保たなければ強いチームになれないということを勉強できた。</p>
<p>とても参考になることが多くて、自分は今までキャプテンになったら自分がいなきゃダメぐらいの気持ちでやっていたのもっと客観視しないとだと思ったり、他人の意見を聞くことでわかることが多かったです。貴重な時間をありがとうございました。</p>
<p>主将となって困っていた時期に、今回の講習会を受けて、自分自身が気を張りすぎていたことに気づきました。メンバーに迷惑をかけないためにも、みんなが意見を上下関係なく言い合える部活の雰囲気を作っていきたいです</p>
<p>リーダーのあるべき姿が理解出来た。リーダーの持っている価値観が他の部員にとっても影響するため、日々の雰囲気作りをしていくべきだと感じた。とても勉強になった。</p>
<p>普段、他部活との関わりがない分今日のグループ活動で自分1人では考えつくことのできない考え方を知ることができてよかった。また、私が考えるリーダーの概念も今日で変わったような気がする講義になった。</p>
<p>自分は主務として参加させて頂きました。代が変わったばかりで自分に自信がとてなかつたのですが、今まで通りみんなで協力し、声を掛け合うことでやり遂げられると少し自信ができました。学んだことを活かし、部全員が楽しく運動に励めるよう取り組みたいと思います。本日はありがとうございました。</p>
<p>他の意見を知ることができて、自分の考え方と比べたり共感したりすることができたくさん学ぶことができた。他の部との関係もあまりとることがなかったので、良い機会だったと思う。</p>
<p>他部活の人とグループワークを行うことによって様々な考え方を知れたり同じことを考えているんだななどを知ることができてよかった。講義についてはリーダーのあり方やリーダーとしての部員に対しての行動の仕方などを深く考えさせられる時間になりました。すごくいい機会になりました！</p>

<p>価値観の違いとかよく言われますけど、育ってきた環境が違うことで価値観が違うのは当たり前前で、その価値観を否定せずに一人ひとり受け入れていく事で部活をしていく上で大切だと改めて思いました。</p>
<p>2時間があったという間でした。他の部活のリーダーとも交流ができ会話をする機会も作れて良かったです。</p>
<p>副キャプテンになってなにをしたらいいのかわからなかったけど、まずは自分を知ってチームメイトとコミュニケーションをとり、共感の土俵づくりから頑張っていきたいと思いました。</p>
<p>どのような立ち振る舞いで今後取り組んでいくかキャプテンとしての目標を立てるための良い経験になりました。</p>
<p>今日のプログラムを学んでこれからチームをまとめていく上でコミュニケーションや雰囲気づくりが大切だとわかったのでチームにもちかえって発信したり、共有していきます。</p>
<p>どんな考えも一旦受け入れてみるのが大切だと思った。時代と共に理想のリーダー像が変わって来ているので、これからは自他が求める理想のリーダーを目指して部活を頑張りたいと思った。</p>
<p>自分がこれまで大切にしてきたことをもっと高められる機会になったと思いました</p>
<p>自分の大事な価値観の中で柔軟性を出したが、自分のラグビーに対する考え方は思ったより頑固だったので改めてもっと柔軟に物事を考える大切さを理解する機会が貰えて良かった。色々な人の考え方や、チームをどのように育てるかを考えるととてもいい機会になった。</p>
<p>自分は主将経験が浅く不安なことがあったけど、色々な部活の主将とグループワークを行うことでリーダーシップのために大切なことを学ぶことができた。</p>
<p>共感をするのがとても重要だということを学ぶことが出来ました。</p>
<p>様々な観点から自分が考えつかないことや実施してみたいけど悩んでいたことが今回のリーダー研修会で学びました。</p>
<p>とても参考になりました</p>
<p>今日参加してリーダーは一人だけ力ではなく周りがあるからのリーダーだと感じた。</p>
<p>色々な部活の人の価値観やリーダーシップなどを聞いて、自分の視点だけでは気づけなかったことに気づき共感することが出来た。私はリーダーという立場になるのがほぼ初めてでどうやったらいいか全く分からず不安だったが、自分オリジナルのリーダーシップを大切にしつつリーダーとして部活に携わっていきたい。</p>
<p>自分では考えない新しい視点からの意見をグループワークを通して聴くことができたので刺激になりました。</p>
<p>自分が考えていたリーダーシップ、リーダーについてとグループの皆さんの意見、全体の意見を聞く事が出来て参考になった。</p>

様々な観点から多くの意見を聞くことができ、これを今日の学びの場で終わるのではなく、今後実践していけるようにしていきたい。

初めて聞く言葉や、いろんな考え方があることを学びました。ありがとうございました。

2) 主務・マネージャー研修

主 旨 主務・マネージャーの役割について理解を得ると共に、他の強化指定部との交流・情報共有を行うことで各部活動の発展につなげる。

日 時 2025年3月29日（土）9:50 集合 10:00-15:00 研修会

場 所 SALTO4階スポーツ科学演習室

対 象 日本福祉大学強化指定部・支援部に所属する主務またはマネージャー

内 容

時 間	内 容
9:50	集合
9:50-10:00	開会式
10:00-12:00	UNIVAS『組織マネジメント研修』
12:00-12:45	お昼休
13:00-14:00	総務課長『活動費の管理について』
14:00-14:30	振り返りグループワーク
14:30-14:45	閉会式・解散

【UNIVAS『組織マネジメント研修』】

≪内容≫

- 目的：組織の活性・強化
- 目標：①マネジメントの基礎知識をインプットする ②部に必要なことをアウトプットする ③他者と交流し、知見を広げる

以上を目的、目標として本研修が行われた。

内容としては、マーケティング（調査し、把握する）誰を、どのようにマネジメントするのか？ 自組織の強み・弱み、最後にどのように部に貢献していくのかなどをワークシートとグループワーク（アウトプット）を使いながら進められた。



≪感想 一部抜粋≫

- 部員数の多さを活かす努力をする必要があると感じた。
- 目標や目的を個人でも部活でも決めて、その為には何をすればよいかを考えることができた。
- 自分たちの活動の強みや弱みなどを深掘りすることができ、書き出した内容を実行できるようにしたい。
- マネジメントはマネージャーだけがするものではなく、主将や幹部などの上の立場に立つ人は理解しておくべきだと思った。ヒト・モノ・カネ・情報の4つの項目に立って今やるべきことや出来ること、改善できることを考えることで、この分野はすぐに解決できそうだと感じた。
- 部内の強みを活かせるように、部員同士でもコミュニケーションを増やしていきたい。

【経理課長『活動費の管理について』】

≪内容≫

部の管理の方法について、管理体制（主担当と副担当）、通帳管理（通帳内での出納管理）、入金管理（いつ、誰が入金してきたか）、執行管理（見積書・請求書・納品書などをもらい、振り込みで管理する）等に分け、わかりやすく話をしてくださった。

≪感想≫一部抜粋

- 部費の使用などは、やはり大人の指導者の目を一度通す必要があると感じた。
- 責任を持ってお金を扱う必要があると感じた。少しのズレが大きくなずれに変わっていくことを知った。
- お金の流れやどこからその資金が出ているかを理解していなかった。会計の学生と共有したい。
- 部員数が増え、金額が大きくなってきたため、月1で確認し合うことにしたが、良いことだったと気づけた。

【まとめ】

今回は外部の講師をお招きして研修会を行うことができた。UNIVAS からの講習では、自分自身のマネジメントの仕方、基礎的知識、行動すべきことを深堀することで実際の行動

に移しやすくなったのではないだろうか。午後からは経理課長より部費についてお聞きすることができた。

今回の主務マネージャー研修会を行い、主務マネージャーにチームの顔としての責任感が芽生えたように感じた。

(文責 坂口結子)

3) SMT 講習会

目的

心理面の向上を目的としたスポーツメンタルトレーニング（SMT）の理論と技法について学ぶ機会を設け、本学特別強化指定部・強化支援部の学生が競技力の向上を図るための心理スキルを獲得出来るようなサポートを行うこと。

参加者（対象：特別強化指定部・支援部に所属する学生）

15名（7部活動） ※記載は順不同

2024年度SMT講習会参加者一覧

2024年度SMT講習会参加者一覧													
名前	学籍番号	役職	部活動名	1	2	3	4	5	6	7	8	出席回数	
1	蔦木 漣花	23SP1033	選手	女子バスケ部	○	欠	○	○	○	○	○	○	7
2	小浜 香音	23PC0167	選手	女子バスケ部	○	欠	○	○	○	○	○	○	7
3	平田 ほのか	23FU0598	マネージャー	女子バスケ部	○	欠	○	○	○	○	○	○	7
4	半田 暖瑠	23SP1454	選手	女子ソフト部	○	欠	○	○	○	○	○	○	7
5	川崎 美憂	24PC0141	選手	女子ソフト部	欠	○	○	欠	欠	○	欠	○	4
6	日吉 ゆうと	23sp1504	選手	ラグビー部	○	○	○	○	○	○	○	○	8
7	西元 駿太郎	24SP1396	選手	ラグビー部	○	○	○	欠	○	○	○	○	7
8	坪井 友満	23FM0300	マネージャー	ラグビー部	○	○	○	○	○	○	○	○	8
9	沼野 慎	24sp1412	選手	硬式野球部	○	○	○	欠	○	○	○	○	7
10	杉永 覇空	24sp0968	選手	硬式野球部	○	○	○	欠	○	○	○	○	7
11	前場 凜俊	24sp1024	選手	サッカー部	○	○	欠	欠	欠	○	○	欠	4
12	舩本 颯士	24sp1651	選手	サッカー部	○	○	欠	欠	欠	○	○	○	5
13	別所 歩夢	22EE1745	主務	男子ソフトボール部	欠	○	欠	欠	欠	欠	欠	欠	1
14	深田 大貴	24PQ0734	選手	男子バスケ部	○	欠	欠	欠	○	欠	欠	欠	2
15	土田 稀琉	24SP1198	選手	男子バスケ部	○	欠	欠	欠	○	欠	○	欠	3

試験オリ

担当者

中尾 綾（スポーツ科学センター・日本スポーツ心理学会認定 SMT 指導士）

福井 邦宗（スポーツ科学センター・日本スポーツ心理学会認定 SMT 指導士）

講習プログラムおよび日程

回	日時	内容	担当者
1	5月23日(木) 13:25～	開講式, 自己理解	福井
2	6月6日(木) 13:25～	イメージとは	福井
3	6月13日(木) 13:25～	ポスター作り	中尾
4	6月27日(木) 13:25～	リラクゼーション・サイキングアップ	福井
5	7月4日(木) 13:25～	クラスタリング	中尾
6	7月18日(木) 13:25～	チームビルディング	福井
7	9月19日(木) 13:25～	モチベーションビデオ作成	中尾
8	9月26日(木) 13:25～	モチベーションビデオ発表, 修了式	中尾

今年度の振り返りと次年度に向けて

今年度のSMT講習会には15名の学生が参加した。昨年度と同様のプログラムで実施した。主な内容は、競技力向上および実力発揮のために必要な心理的スキルの理解と習得のためのトレーニング実践、チーム力向上に向けたチームビルディングの実践である。受講生は意欲的な態度で取り組んでいた。

プログラムを終えた受講生からは、「専門的な知識を身につけることができた」「ポスター作りやモチベーションビデオの作成を通して、チームへの思いがより強くなった」「自分自身を見つめなおす機会になった」などの感想があった。

次年度に向けては、ここ数年同じプログラムで実施してきたので、受講生などの意見を参考に内容を検討してブラッシュアップを図りたい。

(文責 中尾 綾)

講習会の様子





4) スポーツ栄養講習・調理実習

目的

食事は生きるためのものであり、さらには運動のパフォーマンスも向上させるものでもある。そこで、自炊や栄養を学ぶお手伝いとして、調理実習を企画した。調理実習は、初歩的な調理技術を身に付け、目的に沿った献立により食事を摂り、食品を選択する力を身に付けるねらいで実施する。

調理ができる学生、できない学生と一緒に学び、調理の楽しさを感じとり、競技力につなげ、自分磨きに役立てることを目的とする。

参加者

	部活動名	名前	学籍番号	役職	備考
助手	女子バスケ部	林田 藍加	23sp1413	選手	山本和恵ゼミ
1	ラグビー部	今村 律之進	24sp0240	選手	
2		森 翔梧	24sp1834	選手	
3		牧田 藍	24sp1628	選手	
4		嶺 碧人	24sp1776	選手	
5		鈴木 蓮太	24sp0984	選手	
6	硬式野球部	片岡知慧	24Sp0547	選手	
7		奥村大翔	24Sp0463	選手	
8		山本修也	24fu0993	選手	
9		藤原秀太	24fg0392	選手	
10		竹下雄大	24fm0192	選手	
11	女子バスケ部	平 まとい	22fk0351	選手	
12		平田 ほのか	23fu0598	マネージャー	
13		藤本 希実	23sp1561	選手	
14		小倉 楓彩	24sp0471	選手	
15		市川 そら	24sp0117	選手	
16	水泳部	青島 優津樹	23SP0035	選手	
17		浅野 大夢	23SP0043	選手	
18		水谷 柚月	23SP1678	選手	
19		井戸 夢翔	24SP0182	選手	
20	バドミントン部	澤崎 駿	23FU0317	主将	実習欠席
21		前嶋 希来	23SP1611	大会主務	講習・実習欠席
22		金澤 唯斗	23PE0042	学校主務	
23		中西 英大	24FK0532		
24		玉谷 則斗	24FK0474		実習欠席

日 時

調理実習：2025年2月7日（金）9時～13時頃

事前講習（Zoom）：2025年2月5日（水）18時～19時

講 師

山本 和恵 先生（スポーツ科学部）

主催・運営協力

スポーツ科学センター・NFU

講習内容

オンラインにて行ったスポーツ栄養講習会では、基礎栄養学をテーマにエネルギー量、野菜や果実の機能について学んだ。事前に自身の体重や体脂肪率を確認し、それをもとに1日に必要なエネルギー量を計算し、効率よく栄養を摂るために必要なポイントを学んだ。

調理実習内容

	献立名		献立名
主食	ご飯・ドライカレー	汁物	きのこスープ
主菜	豚肉のピカタ	乳	ヨーグルト
副菜	野菜添え	果物	季節の果物

平均（E1,223kcal、P60.5g、F26.8g、C181.5g、食物繊維 11.8g）

※部活動ごとに分かれ、上記献立の調理を実施した。

総 括

昨年度はスポーツ栄養講習会を行い、今年度はより本格的に食育について学ぶ機会を作ること検討した。スポーツ科学部の山本和恵先生、NFUさんの協力もあり、スポーツ栄養講習会と調理実習にて知識の習得と実践の場を作ることができた。

最初に講習会を行うことで基本的な知識を習得、調理実習の内容についての確認をすることができ、具体的なイメージをもって調理実習に入ることができた。部活動ごとに分かれた調理実習は、役割分担もスムーズに行え、全員が調理に参加しながら完成させ食事をすることができた。参加した学生は、講習会・調理実習ともに積極的に取り組んでいたように感じた。

本講習・実習がきっかけとなって、学生の食事に対する意識が向上することを望むとともに、継続的な支援を行っていけるよう検討していきたい。

（文責 中尾 綾）

調理実習の様子



5) 女性アスリートサポート事業

主 旨 女性アスリート特有の問題に対する知識を身につけ、より良い競技生活を送れるようにする。

内 容 月経の基本的な説明と生理用品のメリット・デメリット

日 時 2025年1月25日(土) 9:50 集合 10:00 開始-12:00 頃終了

講 師 向井桃子氏(株式会社 MONA company) 月経ディスク「MOLARA」開発者

実施方法 対面(SALTO4階 スポーツ科学演習室)

対象は強化指定部支援部 女性選手および女性マネージャー

実施内容 月経に関する基礎知識の確認として、そもそも月経とは何か、月経が起こる理由とは、生理用品の種類に、生理との付き合い方についてお話いただいた。

参加人数

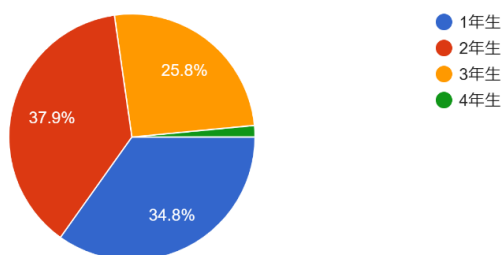
部活名	出席	欠席	部活名	出席	欠席
女子バスケ部	18人	0人	女子ソフト部	13人	3人
水泳部	3人	3人	陸上部	12人	1人
バドミントン部	2人	5人	ダンス部	9人	8人

弓道部・アーチェリー部・硬式テニス部は連絡なく欠席、卓球部連絡あり

総 評

1. 参加学年

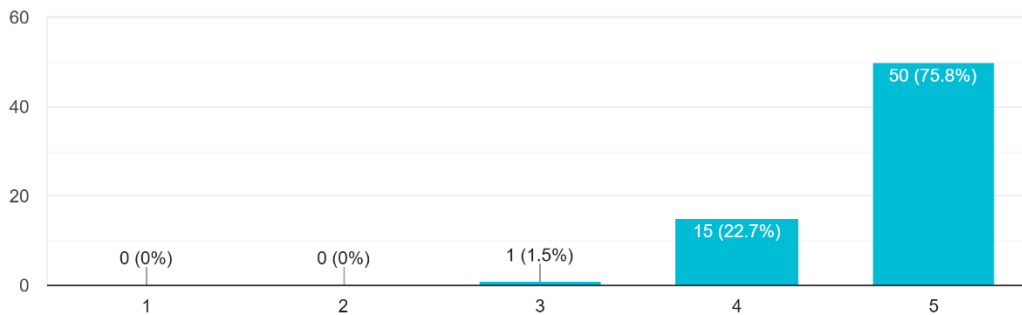
学年
66件の回答



2. 月経についての理解度 (5. よくわかった)

月経についてどの程度理解できましたか？

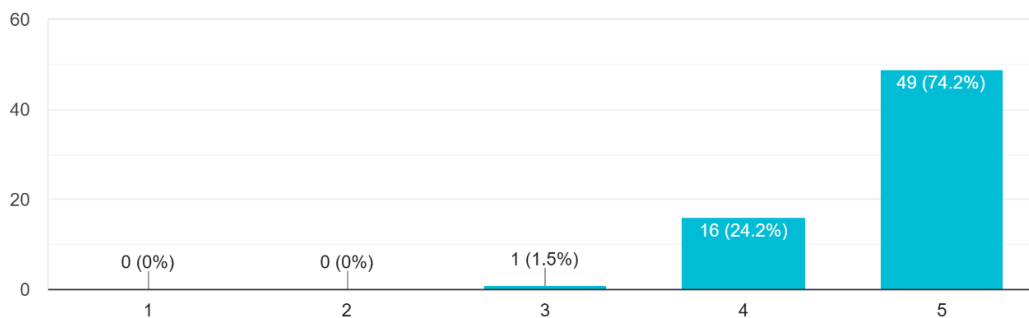
66件の回答



3. 月経用品についての理解度 (5. よくわかった)

月経用品についてどの程度理解できましたか？

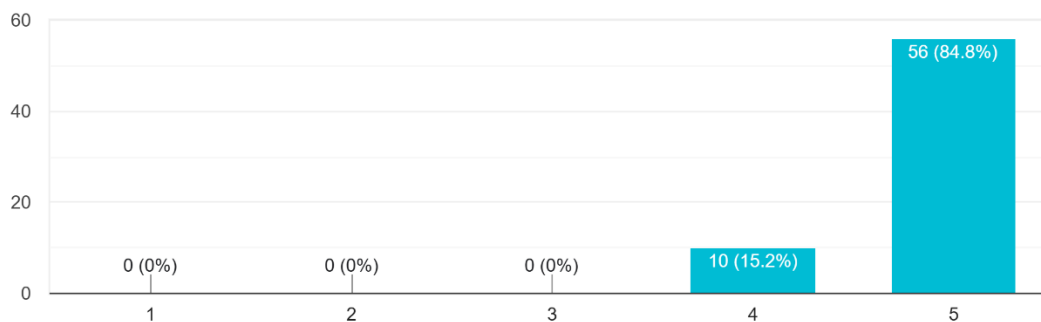
66件の回答



4. 講習会の満足度 (5. 非常に満足している)

今日の講習の満足度を教えてください。

66件の回答



5. 月経に関するサポートの要望（学校でのサポートに限らない）

- トイレに生理用品をおいてほしい。
- 生理用品のお試し用を安価で販売して欲しい。
- 月経の時に体重の増減があるため、食事についての話をして欲しい。

6. 感想（一部抜粋）

今回の月経に関する講習会では、多くの参加者が月経や生理用品について新たな知識を得ることができた。特に、ナプキン以外の生理用品の存在やそのメリットについて学び、自分に合った生理用品を見つける重要性を感じたとの声が多くあった。また、月経痛やストレスの対処法、食生活の改善など、日常生活に役立つ情報も多く提供された。参加者は、月経に対する理解を深め、今後の生活に活かしていきたいと感じたようである。全体として、講習会は非常に有益で、女性の健康に関する意識を高める良い機会となった。



（文責：坂口結子）

6) 各部の活動報告

今年度の活動報告として、試合結果・地域貢献活動を中心に各部が報告書を作成した。

	部活動名	ページ
1	サッカー部	24
2	ラグビー部	25
3	硬式野球部	26
4	男子ソフトボール部	27
5	女子ソフトボール部	28
6	女子バスケットボール部	29
7	男子バスケットボール部	30
8	アメリカンフットボール部	31
9	陸上競技部	32
10	水泳部	33
11	アーチェリー部	34
12	弓道部	35
13	ゴルフ部	36
14	卓球部	37
15	硬式テニス部	38
16	バドミントン部	39
17	ダンス部	40
18	合奏研究会吹奏楽団	41

※順不同

2024年度活動報告書（I部サッカー部）

2024年度成績

[チーム成績]

第63回 tomei 東海学生サッカーリーグ戦 1部リーグ 12位

Iリーグ 2024 東海 2部リーグ

日本福祉大学 A 10位



2024年度目標達成度

2024年度チーム目標 「東海1部リーグ6位以上」

最後の最後まであきらめずに戦ったが、
結果として残留をすることができなかった

2025年度目標

2025年度チーム目標 「東海2部リーグ優勝、1部リーグ昇格」

昨季は「1部リーグ残留」という目標があったが、
勝ち切ることができずに降格してしまった。

そのため、2024年度は1部リーグでも戦っていけるようなチームを目指し、
日々の練習や試合に取り組んでいきたい。



地域貢献活動

小学生を対象としたサッカー教室
少年サッカー大会の開催

2024 年度活動報告書 ラグビー部



◎ 東海学生リーグ戦結果 ◎

9/8	vs 中京大学	0-90	●
9/15	vs 名城大学	12-59	●
9/22	vs 金沢学院大学	12-48	●
9/29	vs 愛知学院大学	10-52	●
10/13	vs 中部大学	19-15	○
10/20	vs 名古屋学院大学	27-26	○
10/27	vs 愛知工業大学	19-14	○

◎ 2024 年度に掲げた目標の達成度 ◎

チームの目標：「東海学生リーグベスト4」

チームスローガン：「connect」

相手チームのフィジカルやテクニックに圧倒され、なかなか得点を重ねることができず目標の「東海学生リーグベスト4」には手が届かなかった。しかし、リーグ後半の勝利により創部以来最高位のI部リーグ5位という結果を残すことができた。

◎ 地域貢献活動 ◎

- ・ 武豊ラグビースクールへの指導
- ・ 東海ハーフマラソンのボランティア

◎ 2025 年度の目標 ◎

「東海学生リーグベスト4
～勝ち切れる試合に勝つ～」



2024 年度活動報告書（硬式野球部）

・ 2024 年度成績

2024 年度愛知大学野球連盟春季リーグ戦（2 部 B）

6 位 順位決定戦 1 勝 2 部残留

2024 年度愛知大学野球連盟秋季リーグ戦（2 部 A）

6 位 順位決定戦 1 勝 2 部残留



・ 2024 年度の目標達成

2024 年硬式野球部スローガン 下剋上～1 部昇格

1 部昇格を目標に 1 年間活動をしましたが、目標を達成する事ができませんでした。今年こそ「頂戦」～感動・感謝・感激の三感王で 1 部昇格の目標を達成できるよう頑張ります。

・ 2025 年度の目標

「頂戦」～感動・感謝・感激の三感王で 1 部昇格

2024 年で達成出来なかった悔しさをバネに、そして、日々支えてくださる保護者、大学関係者、地域の方々への感謝を忘れずに 2 部優勝、1 部昇格に向けて部員全員心を一つにして戦います!!

・ 地域貢献

知多半島のマラソン大会（東海ハーフマラソン、美浜タウンマラソン）

創立 70 周年記念事業～少年野球教室～

県内高校野球部活性化プロジェクト

愛知県高校野球連盟ボランティア



2024 年度活動報告書(男子ソフトボール部)

◇2024 年度成績

- ・ 4 月 2024 年度第 50 回愛知県一般男子二部前期ソフトボール選手権大会準優勝
- ・ 6 月 The 2nd TOKAI Area College Softball Championship 兼第 59 回全日本大学男子ソフトボール選手権大会最終予選会第 3 位
- ・ 11 月 第 25 回愛知県大学男子ソフトボール選手権大会準優勝
- ・ 11 月 第 48 回愛知県一般男子一部・二部入れ替え戦にて勝利し、2025 年度より愛知県一般男子一部昇格

◇2024 年度目標達成度

～2024 年度男子ソフトボール部目標～ **東海地区優勝 インカレベスト 4**

2023 年度のインカレでは、準々決勝で惜しくも敗れ、目標であるベスト 4 にあと一歩で届かなかった。その分、今年のチームはインカレベスト 4 への思いが強かったが、終始相手のペースに飲まれ初戦敗退という悔しい結果となった。

しかし、愛知県一般男子ソフトボール選手権大会では、二部で準優勝し、一部入れ替え戦の切符を手に入れた。入れ替え戦にも勝利し、2025 年度の一部昇格を決めることができた。

◇2025 年度の目標

インカレベスト 4

2024 年度はインカレ一回戦敗退という悔しい結果となった。2024 年度で達成できなかった悔しさを力にして、2025 年度はインカレベスト 4 をチーム一丸で目指す。

◇地域貢献活動

毎年参加させていただいている半田大会で、お世話になっている方々と一緒に半田市クリーンセンターグラウンドの草刈りを行った。今後も地域の方に応援していただけるチームを目指し、地域貢献活動を継続していきたい。



2024年度活動報告書（女子ソフトボール部）

～2024年度結果～

- ・春季第83回東海地区大学女子ソフトボールリーグ戦 第5位
- ・全日本総合・中日本総合愛知県予選大会 準優勝
- ・The 2nd TOKAI Area College Softball Championship(インカレ最終予選会) 優勝
- ・西日本インカレ ベスト8
- ・全日本インカレ ベスト8
- ・第84回東海地区大学女子秋季大会 第3位
- ・愛知県大学選手権大会 第3位

～2024年度掲げた目標の達成～

○チームスローガン 攻（せめる）

【勝負強いチーム・選手に！】【攻めて攻めて攻めまくる！】

〔目標〕春季リーグ・最終予選 優勝 西日本インカレ ベスト4以上
全日本インカレ ベスト8以上を掲げ精進した1年だった。

〔結果〕春季リーグ 5位・最終予選 優勝

西日本インカレ ベスト8・全日本インカレ ベスト8

最終予選・全日本インカレの目標達成をした。



～2025年度の目標～

○チームスローガン 一彩楽最（いっさいがっさい）

- ・一彩⇒一人一人の色を出す ・楽最⇒最も楽しいチームにする
- ・一⇒一人・一球・一日・一試合を大切に・一番を目指す
- ・彩⇒個々の良さを出せる、素を出せる、虹をかける
- ・楽⇒楽しむ心を持つ
- ・最⇒最高のチーム

〔目標〕

・春季リーグ・最終予選 【優勝】

・西日本インカレ 【優勝】

・全日本インカレ 【優勝】



～地域貢献活動～

- ・JDリーグ補助員 ・三重県ソフトボール講習会 ・はんだシティーマラソン補助員
- ・半田市小中学生ソフトボール講習会 ・記録員補助 ・美浜タウンマラソン補助員

2024 年度 女子バスケットボール部 活動報告書

【2024 年度結果】

- 第 62 回東海学生バスケットボール大会 第 5 位
- 第 2 回全日本大学バスケットボール新人戦東海地区予選 準優勝
- 第 73 回西日本学生バスケットボール選手権大会 ベスト 16
- 第 2 回全日本バスケットボール新人戦 初出場
- 第 95 回東海学生バスケットボールリーグ戦（1 部リーグ） 第 5 位

【2024 年度目標達成度】

2024 年度は「インカレトーナメント出場」という目標を掲げた。
結果はリーグ 5 位で、目標達成には至らなかった。

【地域貢献活動】

- ミニバスクリニック
- 日本福祉大学マリンカップ運営
- 美浜タウンマラソンボランティア

【2025 年度目標】

「インカレ出場 東海 2 位」

チームテーマ：進取果敢～感謝の気持ちを持てるチーム、挑戦し続けるチーム～

今年度から新たなチームテーマを掲げた。

応援して下さる人や、バスケットができる環境への感謝を忘れずに、常に高みを目指して挑戦し続ける。



2024 年度活動報告書(男子バスケットボール部)

【2024 年度結果】

第 62 回東海学生バスケットボール大会 2 回戦敗退

男子第 74 回西日本学生バスケットボール選手権大会 2 回戦敗退

第 95 回東海学生バスケットボールリーグ戦 2 部リーグ優勝



【2024 年度掲げた目標の達成度】

1 部昇格

2024 年度は新体制となり、日々の練習の強度を上げチーム一丸となり努力した。

その結果、2 部リーグで優勝することができた。

入れ替え戦へ進み、果敢な激闘を繰り広げたが、惜しくも目標を達成することはできなかった。

【地域貢献活動】

美浜タウンマラソンボランティア

日本福祉大学付属高校との合同練習会



【2025 年度の目標】

2 部リーグ優勝



2024 年度活動報告書（アメフト部）

● 2024 年度結果

愛知学院大学vs 日本福祉大学 28-10 敗退

愛知大学vs 日本福祉大学 35-0 敗退

名古屋商科大学vs 日本福祉大学 14-13 敗退

名古屋工業大学vs 日本福祉大学 40-0 敗退三重大学

vs 日本福祉大学 6-23 勝利

四日市ボウルに4年生2名が参加



● 2024 年度掲げた目標の達成度

一部昇格

一部に昇格するために体づくり（筋トレ）を行ったが上位の大学には及ばなかった。部活内で意見を出し合い、不満、願望を伝えチームの団結力を高めることはできたので継続をしていきたい。

● 地域貢献活動

野間海岸のごみ拾い

2025 年になって最初の部活動で野間海岸のごみ清掃を行った。

多くの人を訪れる海岸を清掃することで地域へ貢献しつつ、チーム全員で役割を分担することで、チームの結束力を高めた。

● 2025 年度の目標

一部昇格

リーグ 2 位以上（入れ替え戦出場）

週3回以上の筋トレでウエイト・フィジカルを1部の大学と同等以上にし、他大学に勝ちきるための体



づくり。

2024年度陸上競技部活動報告書

★2024年度成績

5月【東海学生陸上競技春季大会】

林 信太郎 (4年・スポーツ・黎明)	男子やり投げ	第8位
永谷 千宙 (4年・スポーツ・安城学園)	女子5000m	第2位
金城 怜海 (1年・社会福祉・沖縄カトリック)	女子5000m	第3位
他5名入賞		

5月【第90回東海学生陸上競技対校選手権対校】

林 信太郎 (4年・スポーツ・黎明)	男子やり投げ	第6位
丹村 和咲 (2年・スポーツ・いなべ総合)	女子100m	第8位
永谷 千宙 (4年・スポーツ・安城学園)	女子5000m	第6位
長井 彩華 (1年・社会福祉・長野東)	女子5000m	第7位

8月【東海学生陸上競技夏季大会】

伊藤 由奈 (1年・スポーツ・四日市商業)	女子100m	第6位
金城 怜海 (1年・社会福祉・沖縄カトリック)	女子1500m	第1位
林 信太郎 (4年・スポーツ・黎明)	男子やり投げ	第5位
他5名入賞		

9月【全日本大学女子駅伝対校選手権大会東海地区選考会】

総合2位

10月【第51回東海学生陸上競技秋季選手権大会】

北村 栄敏 (3年・スポーツ・日福大付属)	男子3000m	第6位
山田 葵 (4年・スポーツ・加藤学園)	女子5000m	第1位
藤井 優羽 (4年・スポーツ・済美)	女子10000m	第1位
他6名入賞		

★地域貢献

- ・みはまスポーツフェスティバル
- ・大学祭陸上教室（雨天中止となってしまったが約30名の応募があった。）

★2024年度目標達成度

2024年度は目標として【挑戦】を掲げた。美浜運動公園陸上競技場が完成し、最高の練習環境が整ったことで、部員同士で刺激し合い全国規模の大会へと駒を進められるようにと目標を設定したが、全国大会を含め西日本インカレに出場することさえもできなかった。西日本インカレに出場者がいないことは、近年ではなかったことであり、チーム全体が悔しい思いをした。しかし、1年を通して競技面はもちろんのこと、組織や学生競技者としてのあり方など、多くの課題を見つけることができた。

★2025年度のチームスローガンと目標

今年のチームスローガンを【初志貫徹】とした。

陸上競技部では、部員によるチーム運営を目指し、部員一人ひとりに役割を与えている。しかし2024年度は、そのことを理解できない学生が多かった。そこで、もう一度自分の役割を考え、考えたことを実行しやり通すという姿勢を明確にするためにこのスローガンを設定した。さらに競技に対する意識、大学に入学して陸上競技を「続けたい」と思って入学した以上、最後までやり通す、中途半端な気持ちでやらないという想いがこのスローガンに込められている。その上で、2025年度こそ全国規模の大会への出場者を輩出することを今年度の目標とする。

2024 年度活動報告書(水泳部)

2024 年度成績

【競泳】

第 100 回 2024 年度日本学生選手権水泳競技大会

末光唯楓 男子 200m自由形出場

沖苺花 女子 200m個人メドレー出場 / 女子 400m個人メドレー出場

女子 女子 4×100m メドレーリレー / 女子 4×100m フリーリレー出場

第 93 回 2024 年度中部学生選手権水泳競技大会

女子総合 総合 5 位(日本学生選手権団体出場権獲得)

和田潤巳 男子 200mバタフライ 決勝 8 位

末光唯楓 男子 200m自由形 決勝 5 位

林愛望 女子 200m自由形 決勝 7 位

水谷柚月 女子 200m個人メドレー 決勝 8 位

吉川一馬 男子 800m 自由形 タイムレース決勝 8 位

沖苺花 女子 200m個人メドレー 決勝 4 位

女子 400m個人メドレー タイムレース決勝 4 位

【パラ水泳】

World Para Swimming 公認 2024 ジャパンパラ水泳競技大会

吉田琉那 女子 50m バタフライ 決勝優勝 / 女子 100mバタフライ 決勝 2 位

女子 50m自由形 決勝 2 位 / 女子 100m自由形 決勝 2 位

岡島貫太 男子 50m自由形 決勝優勝 / 男子 100m背泳ぎ 決勝優勝(日本新記録)

井戸夢翔 男子 200m個人メドレー 2 位

第 42 回日本パラ水泳競技大会

井戸夢翔 男子 50m 背泳ぎ 優勝(アジア新記録)

2024 年度目標

SHOW THE SPIRIT ~躍進~

気合を見せつけて去年以上に成績を目指そうという意味である。

2025 年度目標

FIGHT ON~継続は力なり~

常に戦い続け、挑戦する心を忘れないという意味。

地域活動

~水泳教室~

知多市のアクアマリンプラザと連携して、水泳教室を開いた。



2024 年度活動報告書 アーチェリー部

1.2024 年度結果

- ・東海学生アーチェリー王座出場校決定戦 男子…準優勝 女子…準優勝
- ・第 63 回全日本学生アーチェリー男子王座決定戦 ベスト 16
- ・第 59 回全日本学生アーチェリー女子王座決定戦 ベスト 16
- ・第 62 回全日本学生アーチェリー個人選手権大会（インカレターゲット）
中根来木 594 点 31 位
多湖雪羽 593 点 14 位
高井久美子 506 点 80 位

2.2024 年度掲げた目標の達成度

男女共に全日本学生アーチェリー王座決定戦に出場するという目標を達成することができた。また、それ以外にも全日本学生アーチェリー個人選手権大会（インカレターゲット）に 3 名が出場し、男子・女子・団体・個人それぞれで結果を残すことができた。

3.地域貢献活動

第 40 回慰霊射会

4.2025 年度の目標

昨年度に引き続き、男女ともに全日本学生アーチェリー王座決定戦への出場を目標とし、男子・女子・団体・個人それぞれで結果を残す。



《 2024 年度活動報告書(弓道部) 》

* 2024 年度 結果

[女子]

- ・第 67 回東海学生弓道選手権 女子個人 中村 育海 **第 5 位**
- ・第 68 回東海学生弓道秋季リーグ戦女子IV部リーグ **優勝**



* 掲げた目標の達成度

2024 年度では男女共にリーグ戦昇格を目標としていましたが、男子はリーグ優勝することができず、女子はリーグ優勝することはできましたがⅢ部への昇格はできず、男女共にⅣ部残留という結果になりました。

* 地域貢献活動

- ・「第 25 回武豊町ゆめたろうスマイルマラソン」→スタッフボランティア
- ・「夏休み宿題片付け隊」(武豊町社会福祉協議会主催)→スタッフボランティア

* 2025 年度の目標

今年度は去年果たせなかったリーグ戦優勝と昇格を目標としています。この目標を達成するにはチームワークの向上が欠かせません。弓道は一人でもできる競技ですが、団体戦では 5 人 1 チームでチーム全体では二十本の矢を射ることになります。一人が四射四中したとしても他のチームメイトが当てなければ勝つことはできません。つまり弓道の団体戦においてはチームの総合的な力が問われるのです。そのため今年の練習では、試合と同じように 5 人 1 での練習により重点を置き、試合の流れやプレッシャーへの対応力を養っていきます。また、チーム内での役割分担を明確にし、プレッシャーの中でも普段通りの力を発揮できるようなチームの信頼関係を築いていきたいです。



2024 年活動報告書（ゴルフ部）



1 2024 年度結果

山下柚葉

6月定例会 33位 8月定例会 20位 10月定例会 17位
第50回会長杯争奪中部学生ゴルフ選手権競技 30位

横山璃周

6月定例会 25位 10月定例会 11位
中部学生ゴルフ選手権競技 85位
第50回会長杯争奪中部学生ゴルフ選手権競技 68位

稲垣千夏

4月定例会 29位 6月定例会 27位 8月定例会 21位 10月定例会 12位
中日杯争奪中部女子学生ゴルフ選手権競技 39位
中部学生ゴルフ選手権競技 新人戦 19位
第50回会長杯争奪中部学生ゴルフ選手権競技 31位

榎本キラ 石川竣士

6月定例会 8月定例会 10月定例会

2 2024 年度掲げた目標の達成度

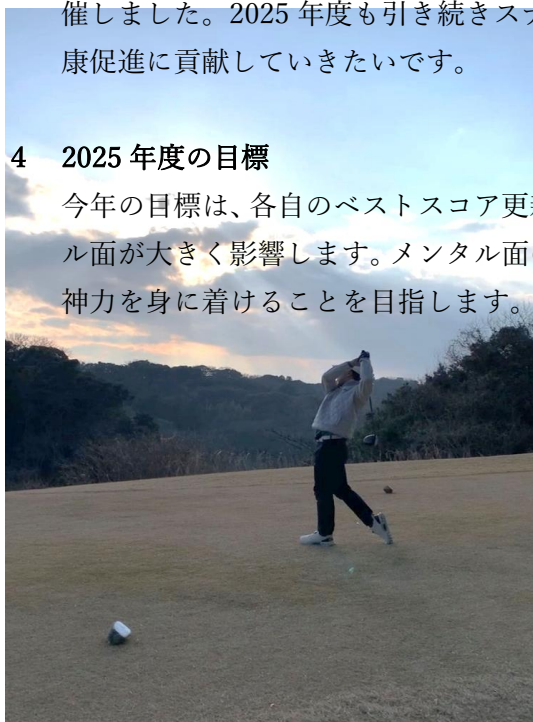
ゴルフ部の認知度向上を目標に掲げましたが、大会で目立つような成績を収めることが出来ず、また、認知度向上に繋がる別の活動も行うことが出来ませんでした。

3 地域貢献度活動

地域貢献活動として、新南愛知カントリークラブにおいて小学生を対象にスナッグゴルフ教室を開催しました。2025年度も引き続きスナッグゴルフ教室を開催し、ゴルフの普及、ゴルフを通じた健康促進に貢献していきたいです。

4 2025 年度の目標

今年の目標は、各自のベストスコア更新と上位大会への出場です。大会では技術力のみならずメンタル面が大きく影響します。メンタル面の強化を図り、安定して本来の実力を出してプレーができる精神力を身に着けることを目指します。



2024 年度活動報告書（I 部卓球部）

～2024 年度成績～

・2024 年度東海学生卓球春季リーグ

男子第二部リーグ優勝（4 勝 1 敗）

女子第三部リーグ 5 位（2 勝 3 敗）

社会福祉学部 2 年 亀山尚史 男子敢闘賞

・2024 年度東海学生卓球秋季リーグ

男子第二部リーグ優勝（5 勝 0 敗）

女子第三部 A リーグ 1 位、順位決定戦 1 位。入替戦で第二部リーグの三重大学に勝利し第二部リーグ昇格

社会福祉学部 3 年 佐野晴喜 男子敢闘賞

・第 10 回オール西日本大学卓球選手権大会（個人の部）

社会福祉学部 3 年 佐野晴喜 予選リーグ第 3 位

スポーツ科学部 3 年 森文乃 予選リーグ第 3 位

・第 18 回東海学生卓球チャレンジカップ

男子ダブルス

佐野・亀山組 準優勝

男子シングルス

佐野晴喜 優勝



～2024 年度目標達成度～

2024 年度は男子第一部リーグ、女子第二部リーグ昇格を目指してきました。

男子は春・秋ともに入替戦で名城大学に敗れてしまい第一部リーグ昇格することができませんでした。女子は秋季リーグで入替戦まで進み、三重大学に勝利し第二部リーグ昇格することができました。



～地域貢献活動～

美浜町民大会の運営サポートを行いました。毎年、地域のクラブチームや小中学生の方々と交流をしていますが、町民大会に参加をするたびに新たな発見がありとても良い経験となりました。

～2025 年度の目標～

〈男女ともに第一部リーグ昇格〉

男女ともに第一部リーグ昇格できるよう日々の練習に取り組んでいきたいと思います。



硬式テニス部



2024 年度活動実績

1. 2024 年度東海学生リーグ戦 I 部 男子 6 位、女子 2 位
2. 2024 年度全日本学生テニス選手権大会出場
(中尾隼也、藤本博文、川野翔汰、石川亜弥、丹羽菜づ名、大西萌那)
3. 令和 6 年度第 84 回東海学生テニス選手権大会
(男子シングルスベスト16、女子シングルスベスト 8、男子ダブルスベスト 8、女子ダブルスベスト 4)
4. 令和 6 年度第 58 回東海学生選抜室内テニス選手権大会出場
(稲垣天祥、丹羽菜づ名、大西萌那)

2024 年度掲げた目標の達成度

今年度の活動では、東海学生リーグ戦での男女 3 位以上という目標に対し、男子は 6 位と

いう悔しい結果であったが、女子は 2 位と目標以上の結果を残すことが出来た。

個人戦に関しては、昨年度よりも多くのインカレ出場者を輩出することが出来た。

地域貢献活動

につづくテニス教室の実施 (11 月 17 日、本学テニスコートにて)

2025 年度の目標

2025 年度東海学生リーグ戦男子 I 部昇格、女子 2 位以上
インカレ出場者の多数輩出



2024 年度活動報告書(I 部バドミントン部)

2024 年度成績

【団体】

第 139 回東海大学バドミントン選手権大会

男子 1 部リーグ優勝 女子 1 部リーグ準優勝

第 140 回東海大学バドミントン選手権大会

男子 1 部リーグ優勝 女子 1 部リーグ準優勝

第 44 回愛知大学バドミントン選手権大会

男子 B チーム 3 位

【個人】

第 72 回東海学生バドミントン選手権大会

男子シングルス 優勝 小椋悠起 3 位 高見柊伍

男子ダブルス 優勝 小椋・高見

第 72 回愛知学生バドミントン選手権大会

男子シングルス 準優勝 高見柊伍 3 位 小椋悠起

第 46 回東海学生新人バドミントン選手権大会

男子シングルス 3 位 兼子大輝

第 69 回愛知学生新人バドミントン選手権大会

男子シングルス 3 位 石谷凌一

男子ダブルス 優勝 澤崎・八ツ橋

女子シングルス 優勝 前田流音



2024 年度目標達成度

インカレ出場という目標で日々の練習や合宿などで技術の向上やチームの絆を深めることができました。惜しくも男女ともに出場することができませんでした。

2025 年度の目標

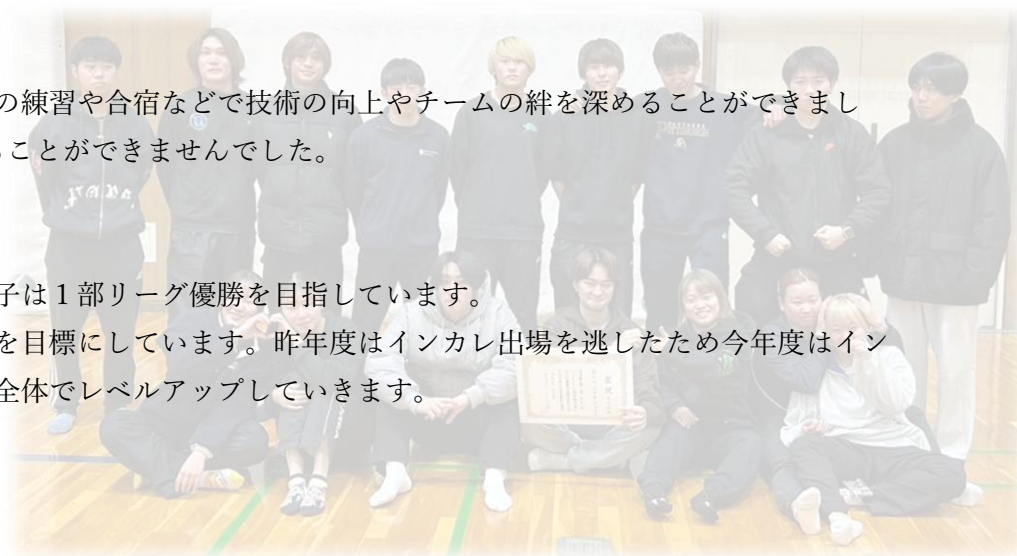
男子は 1 部リーグ連続優勝、女子は 1 部リーグ優勝を目指しています。

また、男女ともにインカレ出場を目標にしています。昨年度はインカレ出場を逃したため今年度はインカレ出場権を得るため、チーム全体でレベルアップしていきます。

地域貢献活動

美浜町民大会の参加・運営

美浜町民大会に参加・運営することにより、競技熱の向上に貢献しています。



2024 年度活動報告書(ダンス部)

【2024 年度大会成績・イベント開催実績】

○USA チアリーディング&ダンス学生選手権大会/All Star Challenge Competition 2024 CENTRAL 大学編成

Hip Hop 部門 1 位

○USA collegiate Championships 2025

4 year college hiphop division 3 位入賞

○自主公演『クレアナ ～繋いでゆく 私たちの想い～』開催



【2024 年度地域貢献活動】

◇ 美浜町運動公園陸上競技場・交流広場

オープニングセレモニー出演

◇ 横須賀高校文化祭ステージ出演、ダンス教室開催



◇ NPO かけはし主催 笑顔のかけはしフェスタ出演

◇ 一般社団法人あいち美浜町観光協会主催

SOUL FOOD JAM 2024 IN MIHAMA 出演

◇ 美浜町主催 美浜町産業まつり出演

◇ ナゴヤアドベンチャーマラソン

ステージ出演、ボランティア参加

◇ ファイティングイーグルス名古屋×NPO かけはし
コラボイベント出演

◇ 株式会社コミュニティネットワークセンター主催
「いきいき健康ダンス講座」ダンス講習会開催

【2024 年度掲げた目標の達成度】

Be The First ～多くの人に笑顔を～

今年度の活動では、USA チアリーディング&ダンス学生選手権大会で海外大会への推薦権を獲得し、アメリカのカリフォルニア州で行われた大会にて3位という成績を残すことができました。また、地域のイベントや活動にもお声がけいただく機会が増え、幅広く活動することができました。2月に開催した自主公演では、目標であった満員のお客様の前で、1年間の集大成となるステージを披露することができました。

【2025 年度の目標】

Be The First ～多くの人に笑顔を～

前年度に引き続き、ダンスを通して多くの人に笑顔届けられるよう努力していきます。

2024 年度活動報告書(合奏研究会吹奏楽団)

1.2024 年度 結果

- ・吹奏楽コンクール愛知県大会 銀賞
- ・アンサンブルコンテスト愛知県大会 打楽器 4 重奏 銀賞
金管 4 重奏 銀賞
- ・第 43 回定期演奏会



2.2024 年度掲げた目標の達成度

・2024 年度は吹奏楽コンクール愛知県大会に出場し、金賞を取ることを目標に掲げ、日々練習を行ってきました。結果としては、銀賞となり金賞には届かなかったですが、初めて学生指揮で出場することができました。また、現在の自分たちの力がどのくらいなのかを直に感じることができました。今年度のこの結果から目を背けることなく、来年度に向けて練習に励んでいきたいと思えます。

3.地域貢献活動

- ・美浜町運動公園陸上競技場・交流広場オープニングセレモニー演奏
- ・半田市重要文化財 旧中埜家住宅での依頼演奏
- ・社会福祉法人ダブルエッチジェーTS ヒマワリでの依頼演奏

4.2025 年度の目標

・2025 年度の目標は、前年度に引き続き、吹奏楽コンクール愛知県大会で金賞を取ることです。依頼演奏などの演奏の機会一つ一つを大切に、明るく楽しい楽団を団員一丸となって、日々の練習に励んでいきます。



7) 指導者研修会

2025年度「2021年度からの特別強化指定部・強化支援部」におけるスタッフ研修の開催要項及び実施内容報告について

日時：2025年3月1日（土）9時30分から12時頃まで

場所：日本福祉大学美浜キャンパス（対面で実施）、集合：第5会議室

参加者：別紙のとおり（2025年度強化指定制度対象部活動スタッフ）

司会：坂口先生（スポーツ科学センター）

スケジュール

時間	項目	詳細
9:30-	開会式／挨拶	・山本スポーツ科学センター長
9:35-	スポーツ科学センター長からのスタッフの役割について（10分） 特別強化指定部でのシンポ パネラー：硬式野球部（部長） ：サッカー部（部長） ：女子ソフト部（監督） ：女子バスケ部（監督） ：ラグビー部（監督）	・センター長より役割の確認 ・部活動での状況報告 ・学業、学生生活の管理状況等についての情報提供
10:35-	質疑応答	
10:45-	休憩	
10:55-	グループディスカッション 懇談内容： 各部の競技特性について、共通理解を進める	・左記内容を中心にディスカッションを行う。
11:45-	ディスカッション内容の共有	・各グループでディスカッションした内容を全体共有
12:00-	講評・挨拶／閉会式	・山本スポーツ科学センター長

進行にあたっての注意事項

- ・シンポへの参加、グループディスカッション、グループディスカッションの内容発表、という順番で進行します。
 - ・各グループでは「進行者」及び「報告者」を決めてから、ディスカッションを始めてください。
 - ・各参加者は、発言等積極的に行ってください。
 - ・各グループ、「報告者」は、各グループで出たお話しをとりまとめ、報告してください。
 - ・各グループは、競技ごと、参加人数等でグループ化する予定です。
- ①競技ごと（各部活動の参加者はできるだけまとめます。若干の調整が発生する場合があります）

②参加人数でグループを調整

実施後の予定

- ・欠席者は、講演会の動画を視聴いただき、レポートの提出をお願いします。
- ・レポートの提出についての案内は、別途連絡いたします。
- ・委嘱状等の発行は、この研修会に参加した方（欠席者は動画視聴、レポート提出済）から、3月13日のスポーツ・文化政策推進委員会の確認後、理事長・学長会議等を経て、理事長から発行される予定です。

パネラーへの質問

- ①活動年間スケジュールの内容
- ②練習時間の工夫（授業出席を中心にした練習時間、個人練習とチーム練習の工夫）
- ③リクルート時間の確保（主に監督）
- ④リクルートの年間計画
- ⑤個人面談の実施状況
- ⑥学修支援の状況
- ⑦就職支援の状況
- ⑧学生生活の管理（特に下宿生の夜時間）
- ⑨奨学金の状況（生活費の状況管理）
- ⑩食育指導
- ⑪コンプライアンス研修実施の有無

当日の内容

- ①スポーツ科学センター長より、建学の精神と UNIVAS の理念、本学の規程等の紹介があった。
- ②強化指定部のシンポは、7の紹介と以下の質問があった。
 - ・リクルートに関わる学部理解の進め方
 - ・スポーツ科学部との連携状況
 - ・リクルート学生の本学での活動モチベーションのレベル
 - ・医療機関との連携状況
 - ・部則の内容
- ③グループディスカッションの内容報告
 - ・シンポの内容やいろいろな各部の情報交換を行った。

欠席者レポート

欠席者がレポートを提出し、そのレポートの内容について、スポーツ科学センター会議で共有した。

<研修会 対象者>

所属等	役割	氏名	グループ	場所
スポーツ科学センター長	挨拶・講評	山本秀人		
次年度スポーツ科学センター長		三井利仁		
スポーツ科学センター・水泳部監督	司会	坂口結子	3	
硬式野球部 部長		福井邦宗	1	
硬式野球部 監督		徳山学	1	
硬式野球部 コーチ		澤井道久	1	
硬式野球部 コーチ		高山栄蔵	1	
サッカー部 部長		亀山哲也	2	
サッカー部 監督		前田仁崇	-	レポート
サッカー部 コーチ		宮崎完二	2	
女子ソフトボール部 部長		松橋秀親	3	
女子ソフトボール部 監督		古宇田佳愛	3	
女子ソフトボール部 コーチ		西井春菜	3	
女子バスケットボール部 部長		木戸脇正	-	レポート
女子バスケットボール部 監督		中尾綾	3	
ラグビー部 部長		中村聡	2	
ラグビー部 監督		藪本貴久	2	
ラグビー部 コーチ		河原清明	2	
アメリカンフットボール部 コーチ		奥谷健司	2	
弓道部 部長		渡邊厚志	-	レポート
硬式テニス部 部長		安藤佳代子	3	
硬式テニス部 コーチ		奥高敦史	-	レポート
ゴルフ部 部長		村田敏顕	1	
ゴルフ部 監督		山根真紀	-	レポート
ゴルフ部 コーチ		関口健一郎	1	
水泳部 部長		松田有司	3	
卓球部 部長		藪井祐明佳	2	
男子ソフトボール部 顧問		後藤晃	1	
男子バスケットボール部 部長		寺田瞬	-	レポート
男子バスケットボール部 監督		高尾尚平	2	
バドミントン部 部長		廣瀬大輔	2	
バドミントン部 監督		兒玉友	-	レポート
陸上競技部 部長		石村和博	1	
陸上競技部 監督		北村肇	-	レポート
陸上競技部 コーチ		久保浩司	-	レポート
陸上競技部 コーチ		吉田由美	-	レポート
陸上競技部 コーチ		小嶋俊久	-	レポート
合奏研究会 部長		岡野真也	-	レポート
ダンス部 部長		福田由紀子	-	レポート
ダンス部 監督		山口晏菜	-	レポート

4. 日福スポーツデー

目的

一般学生に対しスポーツをする場・機会を提供し、学部や学年、スポーツ経験の有無を超えた交流を図る。また、スポーツの魅力を感じてもらう。

日時

<前期>2024年6月4日(火) 18:30~21:00
2024年6月6日(木) 13:30~16:00
2024年6月13日(木) 13:00~15:30、15:30~18:00
<後期>2024年12月2日(月) 18:00~20:30
2024年12月3日(火) 18:00~20:30
2024年12月4日(水) 18:00~20:30 参加者なし
2024年12月5日(木) 16:00~18:30 参加者なし

場所

SALTO1階 スポーツ演習室

内容

室内スポーツを行うことを目的とした団体(サークル・ゼミ・その他:特別強化指定部・強化支援部は除く)に対し、事前申込制で1回2時間半の活動の場を提供する。

参加者

参加グループ数:前期4団体・後期4団体

延べ人数:前期42名、後期45名

(スポーツ科学部:22名、教育・心理学部:15名、社会福祉学部:50名)

参加者からの感想(そのままを記載)

- ボールや道具を借りてできたのでありがたいと思いました。一ヶ月に一回くらいやってみてもいいと思います。
- 練習できる環境を用意していただきありがとうございました。開催頻度が多くなると良いと思いました。
- 珍しいサルトを使える機会を使っただきありがとうございました。次回もまた応募しようと思っています。
- いつもはできない場所でできて、みんな楽しそうでした。また、機会があったら、使わせていただきたいです。
- サルトでバスケできて楽しかった。またやりたい。
- 日頃運動はしたいが、気軽に運動する場所がない。その為このような企画で、体育館を借りることが

できて、終了後も楽しかったと全員から感想を聞くことができた。またこういった体育館を自由に使える機会があれば参加したい。

日福スポーツデーの様子（写真）



総 括

今年度も一般学生に向けた日福スポーツデーを開催し、サークルやゼミを中心とした団体が利用した。述べ8団体で87名が利用した。参加者の感想から、普段SALTOをなかなか利用できない学生から好評であったことが伺える。スポーツ科学部の1年生が20名程度集まって、バスケットボールをしていたことは印象的であった。

運営面について、前期の開催では各団体1日1回限りとして、複数日の申込みを可能としたため、早期に全日程の申込みが終わり限られた団体のみ利用となった。しかしながら、利用当日でのキャンセルや利用がなかった等の問題があったため、後期の開催においては1団体1回限りとして募集をかけた。その結果、全団体が利用することができたが、予約のない日程もあった。

上記を踏まえ、次年度以降も開催を継続していくが、開催要項や募集の方法を検討することが必要である。

(文責 中尾 綾)

5. みはまスポーツクラブの活動支援

今年度の実施教室として、学内にて「キッズウェルネス教室」、新南愛知カントリークラブにて「ゴルフ教室」の2教室を実施しました。併せて、スポーツ科学部2年次生授業【スポーツフィールドワークⅠ】の企画として連携し実施している「子どもスポーツ体験ラボ」(小学生を対象とした運動教室)と「にっぷくはつらつ教室」(高齢者を対象とした運動教室)の2教室も例年通り開催しました。今年度は特に、「にっぷくはつらつ教室」にて参加者の増加が見られ、例年以上に賑やかさを増した充実した教室の実施が出来ました。伺うと、このような増加は、これまで教室に参加頂いた方が新たな方を教室に誘い、参加を促して下さったことが要因の一つであることが分かりました。このことから、参加者にご満足頂ける内容を学生が一生懸命考え、提供することと共に、スポーツに参加すること、身体を元気に動かすことの楽しさや大切さを体験の中で改めてご理解頂き、つながりを通じてその大切さを伝播頂くことが、スポーツを広めていくために重要であると感じます。同時に、皆様とのコミュニケーションの重要性を感じました。これは、いつも教室開催の重要な点として考えている、学生にとっての町民の方との交流の場でもあるということも大きく関わっています。参加者の方は教室の際に、色々なお話を学生にしてください、多くの関わりを持って頂いています。同時に、学生や施設を通じて、美浜町の皆様に大学やスポーツ活動の様々なことを知って頂ける重要な時間であると思います。よって、大学や学生と、町の皆様との相互の関わりが見られる貴重な場として、そしてスポーツ活動の大切さを広めて頂けるきっかけの場として、引き続きより良い教室の提供に尽力出来ればと考えております。

続けて、教室関連では、学内教員および部活動所属学生のご助力により、今年度も様々なスポーツ教室をイベントとして開催することが出来ました。昨年度も記載した通り、これらの教室は、スポーツクラブ会員のニーズを基に、みはまスポーツクラブ事務局との連携することで実現が出来た経緯がある、中間目標達成の好事例の一つとして考えられます。今後は開催ニーズのある教室をより増やしていくと共に、好評を頂いている教室の開催回数の増加や、不定期から定期的な教室として開催する等、皆様に一層充実した教室を提供出来るよう工夫して参ります。

また、今年度の大きな変化として、美浜町運動公園がオープンし、順次利用が開始されました。みはまスポーツクラブの活動に関しましても、それに伴い、運動公園の利用を踏まえた教室運営が具体的に検討されています。

今年度の課題として、まず、これまで実施していた「ランニングスクール」が開催出来なかったことが挙げられます。これは、美浜町運動公園のオープンに際し、学内からそちらに会場変更を検討していましたが、曜日変更等の都合によりこれまでご参加頂いていた方に継続を頂けなかった等の要因により、参加者を集めることが叶わず、開催に至りませんでした。これを踏まえ今後は、陸上部やゼミとの連携協力の下、より参加しやすく、かつ運動公園を有効活用出来る形の教室を検討し、教室再開を目指していくことが目標となります。また、継続課題として、学生のスポーツに関わるまたは学びを深めるフィールドとしての定着に関しても挙げられます。これまで、スポーツクラブのフィールドを卒業論文のデータ収集の場として活用した学生が見られたり、スポーツクラブの運営に関わる学生が見られたり等、学生の関わりは増えつつありますが、未だ定着には至っていない印象です。今後は学生の積極的参加やそれに伴う場の拡大等を引き続きの目標に掲げ、学生個人を筆頭に、スポーツ科学部に留まらず、多くの学部でのゼミや部活動、サークルと連携し、みはまスポーツクラブの教室をより良いスポーツの実践および研究の

場として活用出来るよう、更なる周知をしていこうと考えております。その活動が活発となり、町やスポーツクラブ会員の方に良い影響を与え、クラブの発展に寄与出来ることを願っています。

中期目標の整理

2024年度は、一昨年度以降の中期目標と揃え、

- ・ 5年後の会員数の増加：540名（全町民の2.5%）
- ・ 町民のニーズに応える新たなサークル活動や教室（4種目）の企画
- ・ 高齢者対象「介護予防教室」を行政と協働で実施
- ・ 日本福祉大学生が開催する教室の参加者拡大および新しい競技の教室開催を企画
- ・ 4年後の「美浜町運動公園」一部供与開始に伴う「学生と町民が交流できるサークル」
- ・ 日本福祉大学生が卒業論文のデータ収集やスポーツ指導員を目指す実践の場としてのスポーツクラブ活用機会の充実（2022年度追記）
- ・ 学生を中心としたみはまスポーツクラブ内のサークル活動の設立（2022年度追記）

の7点を継続した中期目標として挙げました。学生にとっては貴重な学びの場の提供と充実、会員の皆様にとってはさらなる充実した活動内容や提供するコンテンツの質の向上という双方のメリットを高めていければと考えております。その点では、特に「日本福祉大学生が開催する教室の参加者拡大および新しい競技の教室開催を企画」は重要な目標であると認識しており、教室の魅力を伝えると共に、多くの参加者に参加頂けるようなコンテンツ作りに注力をしていければと思っております。

先述のように、今年度は美浜町運動公園がオープンしました。来年度はさらに具体的かつ積極的な公園の活用方法が検討され、実施されることが予想されます。それに伴い、スポーツを通じた街づくりおよび上記目標の達成のため、大学とスポーツクラブ、町の方とのこれまで以上に密で具体的な連携と協力が不可欠です。よって本センターでは、引き続きみはまスポーツクラブおよび美浜町と協働し、地域に貢献する各種事業や交流会を企画し、人と人とのつながりを大切に、ともに支えあえるまちづくりに参画します。併せて、学生のより良い学びの機会提供のため、学内での協働を促進し、大学と共にスポーツ活動の質の向上に努めて参ります。

（文責 福井邦宗）

6. 地域貢献活動

1) 第2回日本福祉大学マリンカップ

要 項 (別紙参照)

宿泊者数 240名以上 (美浜町・南知多町に宿泊)

審判員 (愛知県協会より派遣) ※参加費を審判代として利用

後援より

- ・えびせんの里・・・参加賞および個人賞 (、盾、おせんべい)
- ・中日新聞・・・チーム (優勝盾・賞状)

結 果

優勝：ジェイスフィア (愛知)

準優勝：GOLDEN PHOENIX (長野)

3位：ワン (静岡)

優秀選手賞 (個人賞)

総 括

第2回となる今大会は、県内外より13チームが参加した。その中には、昨年能登半島地震により被災した方々がいる能登ネクストもあった。能登半島復興支援大会として、会場にブースを設けて募金活動を行ったほか、「中学生から見た能登半島地震と豪雨について」の学習会を企画し実施した。大会の運営には、本学女子バスケットボール部員がTO委員としてサポートした。

参加チームのレベルは全国大会上位チームから県大会初戦敗退レベルまでさまざまであったが、リーグ戦とトーナメント戦を交えた形で、多くのチーム同士が戦える形となった。指導者の方々の熱心な指導と懸命にコート内で戦う中学生の姿が印象的であった。初日のゲーム後に行った「中学生から見た能登半島地震と豪雨について」の学習会では、震災時から現在に至るまでに様子を実体験をもとに紹介いただき、参加者全員で復興に必要なことや自分たちが準備しなくてはいけないことについて、深く学ぶことができた。

今大会バスケットボールを通して、美浜町・南知多町をさらに元気にすること、能登半島のチームとの交流により、応援する気持ちや自分にできる準備の気持ちを育むという主旨が達成できた大会であった。

大会の様子





第2回日本福祉大学マリンカップ(能登半島復興支援)要項

2025年1月吉日

- 1 大会主旨
 - ・本大会は練習試合の一環として、技術・精神・体力に優れたチームと対戦し切磋琢磨して技術の向上を目指す。
 - ・子どもたちのバスケットボールの活動を通じて南知多と美浜をさらに元気にすることを目指す。
 - ・能登半島のチームとの試合や学習会などの活動を通じて、応援する気持ちや自分にできる準備の気持ちを育む。
- 2 主催：日本福祉大学マリンカップ実行委員会(知多市ジュニアバスケットボールクラブ・南知多中学校女子バスケットボール部・河和中学校女子バスケットボール部・日本福祉大学女子バスケットボール部・南知多町観光協会・あいち美浜町観光協会)・日本福祉大学スポーツ科学センター
- 3 協賛：知多南部地域観光協議会
- 4 後援：南知多町教育委員会・美浜町教育委員会・中日新聞・えびせんべいの里
- 5 日時：令和7年1月25日(土)・26日(日)

- 6 会場：日本福祉大学美浜キャンパス「スポーツラボ SALTIO」 愛知県知多郡美浜町奥田
※駐車場は第6駐車場(大型バスは第7駐車場)をご利用してください。(別紙参照)
※会場への入館は8:00になります。(二日目は7時30分)

- 7 大会形式：午前：リーグ戦
午後：順位トーナメント
優勝・準優勝・三位は盾と賞状があります。

(一日目と二日目の総合成績で順位を決定。同じ順位になる場合は二日間の①直接対決②得失点差で決定。)

8 参加チーム

地元中学校：南知多町立南知多中学校・美浜町立河和中学校合同チーム(1日目)
愛知県チーム：ジェイスフィア・知多市ジュニアバスケットボールクラブ・KbB・瀬戸ドリームス・ライジング
県外招待チーム：能登ネクスト(石川)・ロビンス(奈良)・GOLDEN PHOENIX(長野)・ミニドッグス(神奈川)・スプライト(埼玉)・Nクラブ(神奈川)・ワン(静岡2日のみ)

- 9 参加費 10,000円 ←すみません。変更させていただきました。(審判費のため)

※一日参加チームは5000円

10 開会式・閉会式

・開会式は9:00より行います。できるだけ参加していただきたいです。(遠方等で難しい場合はご相談ください。)

・一日目の日程が終わったら、「中学生から見た能登半島地震と豪雨について」の学習会を開催します。

・閉会式は2日目の最終ゲームが終わったら行います。

・両日会場入り口で能登ネクストさんへの応援の募金をしていますので、ご協力よろしくお願いたします。

何かご相談・ご要望等ございましたら、伴までご相談ください！！

2) 水泳教室

主 旨 【低学年】クロールが泳げない生徒がクロールを泳げるよう、水慣れ、クロールのキック、手の回し方を練習する。

【高学年】平泳ぎを行う。平泳ぎのキック、手足のタイミングの練習を行う。

講 師 スポーツ科学センター 助教 坂口結子／日本福祉大学 水泳部員（補助）

実 施 日 2024年11月2日(土)

時 間 10:00-11:00 教室（小学1-3年生：低学年①）

11:00-12:00 教室（小学1-3年生：低学年②）

12:00-13:00 教室（小学1-3年生：低学年③）

13:00-14:00 教室（小学4-6年生：高学年）

対 象 小学1-3年生27名、小学4-6年生9名

参 加 費 無料

総 評

【募集について】

- 美浜町内小学校でのチラシ配布
- 新聞へのチラシ掲載

【教室内容について】

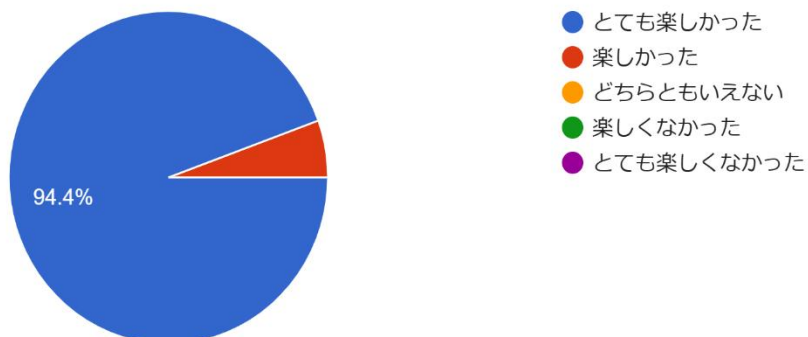
今回、申し込みの時点で低学年は人数を超過する申し込みがあった。急遽時間を新たに設けて行った。教室内容は1日体験という感じではあったが、要点をまとめ行った。最初は顔付けを怖がる生徒もいたため、楽しんでできる水遊び、ボビング、足の使い方、手の使い方、クロールとスモールステップで丁寧に教えた。

対象	実施内容
低学年	水遊び、バタ足、顔付けバタ足、クロールの手の回し方、呼吸なしのクロール
高学年	水遊び、クロールバタ足、クロール、平泳ぎのキック、平泳ぎのプル

【アンケート結果】（一部抜粋）

問① 水泳教室に参加しての感想をお聞きします。

18件の回答



問② また参加したいですか。

18件の回答



また参加したい理由を教えてください。

- 楽しかったから。
- 丁寧にわかりやすく、教えてもらえ、一回での進歩が大きかったから。本人もまたやりたいと言っている。
- 本格的な指導を受けることができたため。
- 最初は泣いてなかなかプールに入れなかったが、とても優しく励ましてもらい、褒めてもらえたことがとても嬉しかったから。
- クロールが初めて泳げるようになったから。

参加しての感想

すれ違う皆さんが気持ちの良い挨拶をしてくれてとても嬉しかった。

終わってすぐに、楽しかった！また行きたい！と言っていた。子供2人に対し、大人が1人ついてくださっていて、安心してお任せできた。施設がとてもキレイだった。短い時間でとても上達していた。上達はしたが、さすがに「泳げるようになった」というには程遠いので、短期集中で数回実施などがあればお金を出してでも通いたいと思いました。

身近な日福でこういう機会があるのは嬉しいです。大学に来れること自体が貴重な体験でした。

とても良かったです。自分の子供がどれくらいのレベルか知る事ができたし、今の学校では泳げない子に手をかけてくれる時間はないので、とても感謝しています。1時間という短い時間で、どんどん泳げるようになっていく姿に感動しました。(他の子ですが…)
是非また水泳教室を開いてください。お願いします。

時間も人数もちょうどよかった。クロール、平が泳げる子も参加できるコースがあると嬉しいです。

一緒に泳いでサポートしてくれる方の人数がたくさんいらっやってよかったと思います。

昨年も参加させていただきましたが、教えてくださる学生の方が増えた分、しっかり見ていただけたように感じます。お兄さんの見本の泳ぎを見て、足を激しくバタバタしていないと本人の気づき等ありました。

すごく楽しそうで行かせて良かったと思いました

とても、楽しく水泳が出来ました。娘は、1時間では足りなかったみたいでもっとやりたいと言っていました。

来年も絶対参加したいと、言っています。

出来れば、毎週もしくは毎月やって頂きたいです。

先生の教え方がとても上手で短時間で少し泳げる様になりました。大学生の方にも優しくサポートして頂き楽しかったと言っていました。

効率よく教えていただけなのでよかった。

積極的な4年生の優奈は、3回目の参加ですが、平泳は初めてでしたので、とても喜んでいました！また平泳教室をして欲しいです。

弟は恥ずかしがり屋で泳げないので、ずっと参加をしたがらなかったですが、半分無理やり（最後は自分の意思で）参加した所、初めだけ泣いていましたが、すぐに楽しくてニコニコしていました！今回の事がきっかけで、何事にもチャレンジしようと思える心が、少しでも育ってくれたら嬉しいと思います。

【まとめ】

今回、小学生を低学年と高学年に分けて水泳教室を行った。低学年は例年同様、すでに募集の段階で定員オーバーするほどの人気があった。ここ数年での口コミ、水泳部学生における水泳教室での人気ぶりを反映するものであった。

内容は水泳が嫌いという子供を対象としたため、できる限りゆっくりと進めた。今回は 1 回きりの体験という形であったが、これまでに参加してくれている子供たちの顔ぶれが見られた。少しずつではあるができることが増え、水泳に対しても苦手意識なく取り組めるようになってきている。最後には楽しかったと笑顔で帰っていく姿が印象的であった。

高学年では 1 つ進んだ平泳ぎの指導に変更した。ほぼ、クロールはできるようになっている子が多かったため、今後もクロール以外の教室があっても良いと感じることができた。

全体を通して美浜町において水泳教室は需要があるため、より良い形で継続していきたい。

【改善点】

今回、無料で行ったことにより安易にキャンセルできる状態であった。また、事前から連絡が取れず当日も連絡なく欠席するなどを含め 20 名のキャンセルおよび欠席が見られた。今後は着金まで済ませた状態で、水泳教室を開催することを希望する。

また、当日水泳部の企画も含め、水泳部全員で対応したが、受付で他の企画の問い合わせも対応するなど、全体を通して人手が足りない状況であった。よって、今後は学校の企画でもあるため、事務職員の方のお手伝いもいただけるとありがたい。

(文責：坂口結子)

日本福祉大学スポーツ科学センター年報 第9号

令和6年度(2024)

令和7年5月発行

スポーツ科学センター関係教員 山本秀人(センター長:教育・心理学部 教授)
坂口結子(スポーツ科学センター 講師)
中尾 綾(スポーツ科学センター 講師)
福井邦宗(スポーツ科学センター 助教)
編集責任 中尾 綾

日本福祉大学スポーツ科学センター 〒470-3295

愛知県知多郡美浜町奥田会下前 35-6

日本福祉大学 Sport Lab SALTO 3階

TEL: 0569-87-2396

FAX: 0569-87-2291

E-Mail: sports-edu-office@ml.n-fukushi.ac.jp
